

ほのほのだよ

～ 親子で楽しむ 絵本の世界 ～

朝晩と冷え込む日も多くなってきました。寒い日には温かいお部屋でゆっくりと読書の時間、もいいのではないのでしょうか。今月は、冬におすすめのほっこり温かく優しい気持ちになるお話を2冊紹介します。

「てぶくろ」

出版社： 福音館書店
作： ウクライナ民話
絵： エウゲーニー・M・ラチョフ
訳： うちだ りさこ

園では「冬の定番」の絵本です。
おじいさんの落としていった手袋を見つけ、
森の動物たちが次から次へとやってきます。
「次はだれが来るかな？」と子ども達と一緒に想像したり、「いれて」「いいよ」のやりとりの中に優しさを見つけたり。
優しさと創造性に満ちたお話です。



「さむがりやのサンタ」

出版社：福音館書店
作・絵：レイモンド・ブリックス
訳：すがはら ひろくに

この絵本に出てくるサンタさんは寒いのが大嫌い。出かけるのに寒くて愚痴を言うし、「ちえっ、くそ」とブツブツいいながら渋々プレゼント配りに出かけます。みんな大好きな「優しくて陽気な」サンタさんとは少し違うけど、とっても人間味の溢れるサンタはなんだかとても愛おしく、親近感が湧いてきます。コミック調の挿絵で、絵を見るだけでもサンタの様子が想像でき、楽しめますよ。

